

日本音楽集団

PRO MUSICA NIPPONIA

第215回定期演奏会

The 215th Regular Concert


感性の融合 外国人作曲家特集

演出：元永 拓
構成：久本桂子
舞台監督：中島隆

2015年7月11日[土]
午後2時開演

よみうり大手町ホール

主催／特定非営利活動法人日本音楽集団

助成／平成27年度文化庁文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業)

後援／公益財団法人日本伝統文化振興財団
JAPAN TRADITIONAL CULTURES FOUNDATION

■ 日本音楽集団：http://www.promusica.or.jp/ E-mail：office@promusica.or.jp

1、心象風景 (2010年)

Elizabeth Brown (エリザベス・ブラウン) 作曲

[指揮] 稲田康

[笙] 西原祐二 [笛] 遠藤悠記 [尺八I] 田野村聡 [尺八II] 大賀悠司 [尺八III] 原郷隆

[三味線] 山崎千鶴子 [箏I] 桜井智永 [箏II] 石井香奈 [二十絃] 丸岡映美 [打楽器] 尾崎太一

2011年度 牧野由多可賞作曲コンクール大賞受賞曲

この作品は、日本庭園を訪れたときの心象風景を表現しました。回遊式の庭園を歩みゆくと、次々に新しい風景があらわれます。色とりどりの音の世界に満ちた第一楽章を過ぎると、第二楽章では、偶然の遭遇に小さな喜びを覚えるような美(び)を、静かに見つめます。第三楽章は3人の尺八奏者が、風景を讃える俳句を交互に音に乗せて歌い上げ、最終楽章は、明日への不安を超えて憧れと希望に満ちた旅立ちを表現しました。

Elizabeth Brown
エリザベス・ブラウン

尺八演奏家、フルート奏者、テルミン奏者、作曲家。ジュリアード音楽院卒業、グッゲンハイムフェローシップ取得。その他Orpheus, St. Luke's Chamber Ensemble, ACCなど多くの助成、賞を受ける。日本には2008年US/Japan Friendship Comissionのフェローシップにて滞在。第4回牧野由多可作曲コンクールに於いて大賞受賞。東洋と西洋の感性の美しい彩りの作品は尺八だけでなく、雅楽、三味線、横笛などあらゆる邦楽器を扱っており、各地で演奏されている。モントクレア州立大学音楽学部講師。 <http://www.ElizabethBrownComposer.com>

2、箏四重奏曲「さすらい」 (1998年)

Simon Bertrand (シモン・ベルトラン) 作曲

[二十絃I] 久本桂子 [二十絃II] 三宅礼子 [二十絃III] 桜井智永 [二十絃IV] 丸岡映美

「さすらい」は本来1998年に出版社 Paul Gerrits の委嘱により作曲された4本のギターのための作品を、4面の箏のために編曲したものである。

瞑想から激情へ、5つの短い楽章は流浪する情緒の回顧であり、そこではアジア的な5音音階や調性的響きを時折かもし出すような音列(しだいに音程関係の広がる音列)が、旋律的あるいは和声的「身振り」となり、出現、消滅する。

"le quatuor des errances" was written in 1998, commissioned by my publisher Paul Gerrits and originally written for four guitars, then arranged for four koto. It consists of apparitions and disappearances of various melodic and harmonic gestures, all using the same modal row, made from an gradual enlargement of intervals, which gives sometimes pentatonic asia-like sounds, or tonal sounds. The fives short movements are remembrances of different states of mind, from meditation to exaltation, felt during a long journey...

(第156回定期演奏会プログラムより、シモン・ベルトラン)

Simon Bertrand
シモン・ベルトラン

1969年生まれ。作曲家、サキソフォーン奏者。モントリオール大学・コンセルヴァトワール・セブラン卒業。1994年セヴラン作曲部門第一位。1998年ケベック・カウンシル派遣により来日。1999年2月に在日カナダ大使館において自作によるコンサート開催。

3、Krótka Noc 短夜 (みじかよ) (1996年)

Włodzimierz Kotoński (ヴォジミエシュ・コトニスキー) 作曲

[指揮] 苔米地英一

[笛] 新保有生 [尺八I] 大賀悠司 [尺八II] 田野村聡 [三味線I] 守啓伊子 [琵琶] 藤高理恵子

[箏I] 桜井智永 [箏II] 久本桂子 [十七絃] 宮越圭子 [打楽器] 尾崎太一 盧慶順

「ノクターン(夜想曲)のような曲」とこの作品について表現している作曲者コトニスキー氏によれば、「日本の伝統音楽的な音階は使用していないながらも、音色のある特殊な部分から、日本的なものが醸し出されている」ということである。確かに箏の調絃等のシステムの面で、例えばペンタトニック的な設定はされておらず、どちらかと言えば半音階的である。また、その他の楽器についても、例えば篠笛と尺八による微分音的ハーモニーなど、非常に特異な雰囲気を持つ部分がある。しかし彼は楽器の音色を構成する要素の中の「音」と呼ばれる部分に日本的なものを感じているようであり、加えて、イベントとしての個々の音が放たれるタイミングや、合奏とソロイスティックな部分の連鎖によって成り立っている形式も、この作品が日本的に響く要因の一つだと言える。

(第143回定期演奏会初演 1996年7月10日パリオホール) (田村文生)

Włodzimierz Kotoński
ヴォジミエシュ・コトニスキー
(1925-2014)

ワルシャワの高等音楽院を卒業後、ダルムシュタットやパリを訪れ現代音楽を学ぶ。その後ケルン、ストックホルム、西ベルリンに滞在して実績を積み、ワルシャワの高等音楽院で作曲および電子音楽の教授となる。

4、Double Duo(1996年)

Diego Luzuriaga (ディエゴ・ルズリアガ) 作曲

- [笛I] 新保有生
- [笛II] 遠藤悠記
- [打楽器I] 細谷一郎(助演)
- [打楽器II] 盧慶順

エクアドルの楽器にはなじみの深い私ですが、この度初めて日本楽器のための作曲をしました。日本の笛とエクアドルの笛の共通点は、土くささとあたたかな音色にあると思います。このことは私の曲を表現するのに最適な要素でした。

第1楽章 The Call (呼びかけ)

小鼓と太鼓の呼びかけに能管がうめくように音をすり下げながら答えます。

第2楽章 Song(うた)

ゆっくりと安定したうねりをもった篠笛と篠笛の悲しい対話です。

第3楽章 Salasaca Dance(サラサカ・ダンス)

エクアドルのアンデスに住むサラサカインディオ達の演奏曲中、早いダンスの部分の旋律をもとにして作りました。

(初演プログラムより)

<p>Diego Luzuriaga ディエゴ・ルズリアガ (エクアドル)</p>	<p>クウェートの国立音楽院、ニューヨークのコロンビア大学で作曲を学び、ブラジリア大学で作曲を教える。ヨーロッパ各国及び自国のオーケストラ等の委嘱を受ける。作曲家の松尾祐孝氏の紹介により日本音楽集団と巡り会う。</p>
---	---

5、"雷神 Raijin" (委嘱新作)

Donald Reid Womack (ドナルド・リード・ウォマック) 作曲

- [笛] 新保有生
- [尺八] 元永拓
- [三味線] 穂積大志
- [琵琶] 久保田晶子
- [二十絃] 三宅礼子 [十七絃] 久本桂子
- [打楽器] 細谷一郎(助演)

日本の雷と風の神に触発された作品である「雷神(Raijin)」は、激しい音楽の爆発そのものである。神々のありのままの力はすさまじい音の流れと鮮やかな色彩のきらめきを伴って解き放たれ、全ての楽器を自然界の力へと昇華させる。作曲家ドナルド・ウォマックの音楽は和楽器、ロック音楽のエネルギー、そしてクラシック音楽の洗練された構造の発展を合わせ持つことで独特かつ刺激的な音の世界を作り出している。

Inspired by the Japanese gods of thunder and wind, "雷神(Raijin)" is an energetic explosion of music. The raw power of the gods is unleashed with a furious rush of notes and brilliant flashes of color that transform the instruments into forces of nature. Composer Donald Reid Womack's music combines the sounds of Japanese instruments, the energy of rock music, and the sophisticated structural development of classical music to create a unique and exciting sound world.

Donald Reid Womack
ドナルド・リード・ウォマック



交響曲、ヴァイオリン協奏曲、尺八・箏とオーケストラのための二重協奏曲をはじめ、80を超えるオーケストラ作品の他、室内楽、独奏曲、合唱や声楽作品に加え、日本、韓国、中国の楽器の為の作品を作曲。これまでに、東京都交響楽団、the Louisville Orchestra, the Honolulu Symphony, the Pittsburgh New Music Ensemble, Contemporary Music Ensemble Korea, アジアアンサンブル、大友直人氏(指揮)、小泉和裕氏(指揮)、David Stock氏(指揮)、カヤグム奏者として名高いJi-young Yi氏、Yang Jing氏(中国琵琶)、坂田誠山氏(尺八)、木村玲子氏(箏)、Parry Karp氏(チェロ)そしてソプラノ歌手Tony Arnold氏を含む音楽家により演奏された。また、フルブライト・シニアリサーチフェローシップ、ハワイ州アーティストフェローシップ(二回受賞)、Sigma Alpha Iota Inter-American Music Awards 第1位などを含め、今までに約100を超える助成、賞、委嘱を受け、世界5大陸において作品が演奏・放送されている。

現在、ハワイ大学作曲理論プログラム主任教授。

www.donaldwomack.com

特定非営利活動法人日本音楽集団

【正会員】 (団員) (楽器別・五十音順)

笛
あか 潤
遠藤 悠紀
新保 有生
竹井 誠平
西川 浩平

箏
西原 祐二
三浦 元

尺八
大賀 悠司
阪口 夕山
田野 村聡
原野 郷隆
藤崎 重康
三橋 貴風

宮田 耕八朗
元永 拓
米澤 浩
渡辺 淳

三味線
杵家 七三
穂積 大志
箕田 弘大
箕田 啓司
守啓 伊子
山崎 千鶴子

琵琶
久保田 晶子
首藤 久美子
田原 順子
藤高 理恵子

箏
石井 香奈
伊藤 麻衣子
岡山 亮子
久東 寿子
熊沢 栄利子
桜井 智永
佐藤 里美
島崎 春美 ※
城ヶ崎 美保 ※
彦坂 恵美子 ※
前川 美保子
丸岡 映美子
三宅 礼子
宮越 圭子
山田 明美
渡辺 正子 ※

打楽器
臼杵 美智代
尾崎 太一
島村 聖香
仙堂 新太郎
多田 恵子
山内 利一
盧 慶順

指揮
稲田 康
田村 拓男
苜米 地英一

作曲
秋岸 寛久
川崎 絵都夫 ※
篠田 大介

高橋 久美子
福嶋 頼秀

楽器・舞台
中島 隆

代表
尾崎 太一

副代表
米澤 浩

監事
田村 拓男
三田村 典昭

運営委員
久保田 晶子

桜井 智永
原郷 隆
久本 桂子
穂積 大志
元永 拓
山崎 千鶴子

アートマネージメント
大西 愛子 ※

事務局
中山 美穂子

永久名誉団員
長澤 勝俊

2015年7月現在
(※印は休団中)

● 賛助会員へのお誘い ●

1999年10月、特定非営利活動法人日本音楽集団が発足したのを契機に、賛助会員を募集しています。多くの方々からの支援を仰ぎ、息の長い活動の定着と発展を目指したく、ご協力をお願い申し上げます。

年間 個人会員10,000円(一口以上) 法人会員30,000円(一口以上)

【賛助会員】(口数・五十音順)

[法人]
神戸レコード倶楽部/宅音便(有限会社 文)
青和観光株式会社
日凸運送株式会社
有限会社 邦楽ジャーナル

[個人]

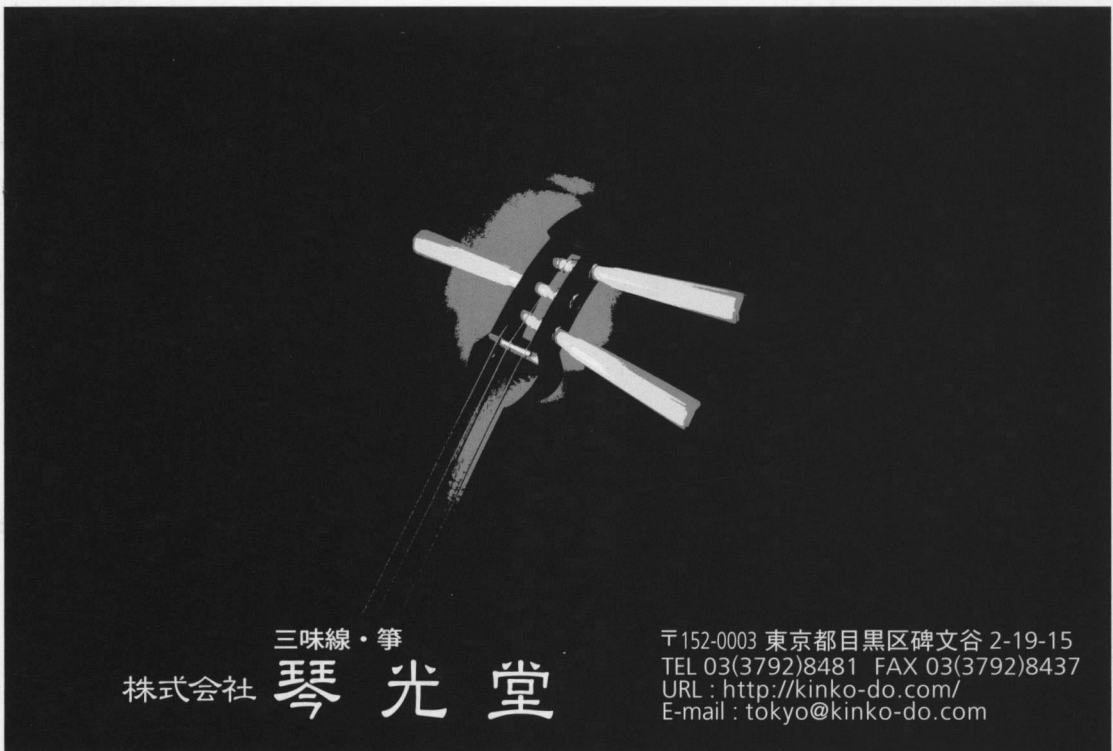
池田 紫真榮
江西 縁
小野 永恵
柿崎 やよい

小池 節子
嵯峨山 あき子
佐藤 玲子
杉山 英樹
添川 浩史

東谷 仁
富山 優子
友杉 毅
西野 千恵子
堀 保之

三宅 一徳
元永 明希
元永 美代子
森 繁美
森 博明

その他3名
(2015年7月現在)



三味線・箏
株式会社 琴光堂

〒152-0003 東京都目黒区碑文谷 2-19-15
TEL 03(3792)8481 FAX 03(3792)8437
URL : <http://kinko-do.com/>
E-mail : tokyo@kinko-do.com

特定非営利活動法人

日本音楽集団

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚3-17-1 滝沢ビルB1 TEL03-3378-4741 FAX03-3376-2033
ホームページ <http://www.promusica.or.jp> E-Mail office@promusica.or.jp